

陳 情 文 書 表

(保健福祉局)

受 理 番 号	1 2 8	受 理 年 月 日	令和 2 年 12 月 16 日
件 名	安全・安心の医療，介護の実現等		
要 旨	<p>2020年の新型コロナウイルスによるパンデミック（感染爆発）は，日本国内でも大きな影響を広げた。経済活動や国民生活にも深刻な影響を及ぼすとともに医療崩壊などが取り沙汰され，国民の命と健康が脅かされる事態が広がった。この感染症対応の経験から明らかになったことは，感染症病床や集中治療室の大幅な不足やそれらを中心的に担っている公立・公的病院の重要性，医師，看護師，介護職員の人員不足，保健所の不足問題などである。これらの諸問題の背景には90年代後半から続いてきた医療，介護，福祉など社会保障費の抑制策や公衆衛生施策の縮減がある。</p> <p>国民の命と健康，暮らしを守るためにも医療，介護，福祉，そして公衆衛生施策の拡充は喫緊の課題である。</p> <p>ついては，国民が安心して暮らせる社会の実現のために下記の事項を願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 今後も発生が予想される新たな感染症拡大などの事態にも対応できるよう，医療，介護，福祉に十分な財源確保を行うこと。 2 公立・公的病院の統合再編や地域医療構想を見直し，地域の声を踏まえた医療体制の充実を図ること。 3 安全・安心の医療，介護提供体制を確保するため，医師，看護師，医療技術職，介護職等を大幅に増員すること。 4 保健所の増設，保健師等の増員など公衆衛生行政の拡充を図ること。ウイルス研究，検査・検疫体制などを強化，拡充すること。 5 社会保障に関わる国民の負担軽減を図ること。 		
陳 情 者			
回 付 委 員 会	教 育 福 祉 委 員 会		

